

九州育種場

九州育種場は、熊本県熊本市に隣接する合志市に所在しています。

九州一円の育種基本区を管轄しており、場内には、天然記念物のヤクタネゴヨウの他、薬用植物のキハダ、早生樹種のコウヨウザン、センダンなど、新たな需要が期待される樹種を保存しています。

温暖な気候で、皆伐面積が急速に増大している九州では、伐採跡地に植栽する優良種苗の確保、特に、スギ種苗の確保が喫緊の課題となっています。

このため、優れた成長により、下刈りコストの削減が期待できるエリートツリーの開発、花粉の少ない品種等の開発を行い、特定母樹として大臣指定を受けたものについては、県に加えて、県が認定した事業者にも種苗（原種）を配布しています。

配布に当たっては、その特性についての情報を提供しているところですが、森林所有者・造林者・苗木生産者といった利用者に実際に見ていただけるように、九州森林管理局、県、森林整備センターの協力を得て、共同試験を進めています。

また、採穂園を有する各県からの要請に応じて、採穂園の採穂木の樹形誘導や管理についての講習・指導を積極的に行い、各県が種苗事業者に円滑にさし木用穂木等を供給する活動を支援しています。



森林整備センター九州整備局との共同植栽試験地
(熊本県山都町：平成26年3月植栽)



育種場内に植栽されているスギのエリートツリー
(植栽後1成長期経過)



佐賀県の採穂園におけるスギ採穂木の樹形誘導講習



少花粉品種から選ばれたスギの特定母樹
(育種場内に植栽後1成長期経過)